

平成28年度県立高等学校入学者選抜学力検査
社 会

■ねらい、出題の内容

1 地理的分野の問題

【ねらい】地図、グラフなどの資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能をみる問題です。

【出題の内容】(1)緯線と経線が直角に交わった地図と、中心からの距離と方位が正しくあらわされた地図を活用し、情報を適切に読み取る問題。(2)情報をあらわすのに適切な資料を選ぶ問題。(3)資料から、アフリカ州の国々に多くみられるモノカルチャー経済の姿を読み取る問題。(4)二カ国の資料を比較し、発展途上国の人口の特徴を思考・判断し、表現する問題。

2 地理的分野の問題

【ねらい】近畿地方を題材として、基礎的・基本的な知識や理解の定着をみるとともに、資料から読み取った情報を根拠として、思考・判断したことを表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1)、(2)地図を活用し、近畿地方の基礎的知識・理解を問う問題。(3)近畿地方の降水量の特色についての理解を、資料を通して問う問題。(4)府県の産業の特色を統計資料を基に問う問題。(5)二つの写真から景観の変化を読み取り、その理由を思考・判断し、表現する問題。(6)①ニュータウンの建設に関する基礎的知識・理解を問う問題。②資料を活用し、人口の推移を読み取る問題。

3 歴史的分野の問題

【ねらい】日本の近代の歴史を、対外拡張と国際協調をキーワードに対外関係の変化に着目して、様々な資料を活用し、多面的・多角的に考察したことを適切に表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1)開国に関する基礎的知識を問う問題。(2)第一次世界大戦までの対外関係に関する歴史的事象を、年表を活用して並びかえる問題。(3)日本の産業革命をになった繊維工業について、資料を活用して思考・判断し、表現する問題。(4)二つの資料を基に、1920年代の国際協調を重んじた日本の姿を読み取る問題。(5)大正デモクラシー期の社会運動に関する基礎的知識を問う問題。(6)近代の日本と世界の動きを関連させる問題。(7)満州事変以後の歴史をふまえ、日本国憲法の平和主義の理念について問う問題。

4 歴史的分野の問題

【ねらい】古代末～近代初期までの歴史を、武士をテーマとして、様々な資料を活用し、多面的・多角的に考察したことを適切に表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1)武士が登場する時期に関する基礎的知識を問う問題。(2)蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退のつながりから、封建制度に関する基礎的理解を問う問題。(3)室町文化の特色に関する基礎的知識を問う問題。(4)(5)中世と近世の幕府の経済政策と宗教政策についての基礎的理解と、資料から得られる情報を活用し、表現する問題。(6)資料を基に、中世・近世と近代の軍事政策の違いについて思考・判断したことを表現する問題。

5 公民的分野の問題

【ねらい】国際社会、日本、地方の三つのスケールから、現代社会が抱える課題と対策についての基礎的な知識・理解と、資料から得られる情報を有効に活用し、多面的・多角的に考察する力をみる問題です。

【出題の内容】(1)(2)国際社会が抱える課題と対策に関する基礎的知識を問う問題。(3)(4)日本が取り組む社会保障制度と税制について、資料を通して、思考・判断し表現する問題。(5)(6)地方における財源確保と、地方における取り組みについて、資料から適切に情報を読み取り、思考・判断する問題。

6 公民的分野の問題

【ねらい】「憲法と民主主義」をテーマとして、憲法を通して民主主義や民主政治について、基礎的な知識・理解を基に、資料を適切に活用して、思考・判断し、表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1)(2)(3)国の政治のしくみについての基礎的な知識・理解を問う問題。(4)昨年度の最高裁判所の憲法判断を基に、裁判所が持つ違憲審査権についての知識を問う問題。(5)権利の主張の対立をめぐる裁判の例を基にして、基本的人権についての理解を問う問題。(6)①社会保障制度の基礎的な知識を基に、選挙に関する資料から得られる情報を読み取る問題。(6)②選挙で投票することの大切さを、議会制民主主義と結びつけて考察し、表現する問題。

■今後の学習指導のために

各大問とも、設定された課題やテーマを軸に、基礎的な知識・理解に基づき、様々な資料を活用しながら思考・判断したことを表現する力をみることを大きなねらいとしています。これは、学習指導要領において、知識・理解を有機的に結びつけ、社会的な課題に対処し、解決していく力を育むことを重視しているためです。そのためにも、単元を通したねらいと明確な評価規準を設定し、生徒の主体的な活動を重視した学習指導を行う中で、基礎的な知識・理解の着実な定着を図るとともに、資料の適切な活用を通し、思考・判断し、表現する活動を一層充実させることが求められます。

■まとめ

上記のとおり社会科の学習指導では、身に付けた知識・理解を、社会的事象に対する課題の解決に向けて活用したり、応用したりする力を育むことが求められています。このことを受け、今年度は、全分野において、資料を活用し、思考・判断・表現することを求める設問をこれまで以上に増やしました。地理的分野では、特に資料の活用能力を重視し、モノカルチャー経済や人口問題、歴史的景観の保存について思考し、表現させており、歴史的分野では、受験生にとっては初見と思われる資料を用いて歴史を概観させました。また、公民的分野では、プレミアム付商品券や、違憲審査に関する判例、満 18 歳選挙権引き下げなど、現実の社会的事象を通して、思考・判断し表現させる設問を取り入れました。

■正解と正答率表

() 内は部分正答率

問題		正 解	正答率 %
大	小		
1	(1)	① u	63.7
		② エ	53.0
		③ t	66.1
		④ 温帯	70.3
	(2)	ア	93.8
	(3)	C国の輸出は、銅に大きく依存しており、世界の銅価格の影響を受けやすい。	39.2 (20.3)
	(4)	日本に比べて、D国は出生率が高く、少子化は進んでいない。	62.7 (18.9)
2	(1)	D	79.9
	(2)	リアス (式) 海岸	94.8
	(3)	イ	62.0
	(4)	イ	64.3
	(5)	歴史的景観を保全するため、電柱をなくしている。	76.5 (12.2)
	(6)	① ア	69.3
		② ウ	72.9
3	(1)	アメリカ	88.4
	(2)	ウ → ア → エ → イ	22.5
	(3)	製糸業は紡績業に比べ、原料の輸入額が小さく、国内生産額が大きかったため。	15.3 (12.0)
	(4)	国際協調を重んじ、軍備を縮小する	30.9 (7.6)
	(5)	ウ	85.7
	(6)	エ	69.9
	(7)	平和主義 (戦争放棄)	80.7

問題		正 解	正答率 %	
大	小			
4	(1)	エ	67.7	
	(2)	奉公	62.9	
	(3)	寝殿造	31.7	
	(4)	中国から銅銭を輸入していた	60.0 (4.0)	
	(5)	ア	50.8	
	(6)	新政府が、徴兵令によって士族だけでなく平民も徴集したため。	8.6 (9.0)	
5	(1)	南北問題	71.9	
	(2)	ウ	44.2	
	(3)	社会保険料の割合が小さくなっている	19.7 (1.4)	
	(4)	所得に対する税負担の割合が大きくなる	48.6 (8.4)	
	(5)	ア	74.7	
	(6)	エ	59.6	
6	(1)	行政	73.5	
	(2)	議院内閣制	54.0	
	(3)	解散	76.3	
	(4)	イ	88.0	
	(5)	ウ	98.2	
	(6)	①	イ	90.8
		②	選挙によって選ばれた代表者が議会をつくって政治を行う	35.9 (14.7)